

環境審議会（令和元年度第1回）顛末

日 時 令和2年1月29日（水）14時00分～15時30分

場 所 保健センター2階 会議室

出席者 委員：高橋穰二、家次敬介、有澤 浩、市村英規、石川 芳、浜谷政之、
佐藤里津江、竹森茂雄、平間早苗、佐々木雅夫、西野成紀、南部栄一
（12名）

（欠席委員）鎌田直人、跡部昇一、鎌田慶司、大矢根史典、佐々木恵理子（5名）

事務局：市民生活部長 山下俊明、環境課主幹 関根嘉津幸、
環境係長 西尾善行、環境係 難波真美子

1. 開会（進行：関根主幹）

2. 市長挨拶 代理で山下市民生活部長挨拶

日頃から、環境審議会のみならず市の色々な取り組みにご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。環境を取り巻く状況は、世界的にもSDGs、地球温暖化を含め毎日毎日報道で特集も組まれたり、新聞、雑誌などでも取り上げられたり、環境問題というのは規模も大きく、また身近なところにもたくさんあり、地球人類の永遠の課題であると感じています。

環境省では平成30年4月に第5次環境基本計画が提言されており、富良野市では第二次富良野市環境基本計画を平成23年3月に策定（平成29年3月一部変更）し、2020年为目标年となっています。今回は環境審議会を4回開催し、委員のご意見、ご提言を受け、またパブリックコメント、市民・事業者アンケートの実施等を行い策定してきたところでございます。

令和2年度になりますと、第三次富良野市環境基本計画の策定作業がありますので、委員の皆さまにはいつもの年以上にお世話になります。今日は環境基本計画の進行管理ということで、昨年もお指摘いただいたところもありますが、日頃から気付いたことや次期環境基本計画策定にむけて有効なご意見、ご提言をいただければと思いますのでよろしくお願いします。

3. 議事（議長：高橋会長）

（1）環境基本計画の進行管理について

※事務局（西尾係長）より、事前配布資料「令和元年度富良野市環境白書」について説明

委員からの質問・意見

①水環境の保全

有澤委員

西達布川のBODが0.9となっているがなぜここまで高いのか？
また、頭無川、北2線川、北1号川数値が高いように思う。

基線川が前回より汚染度が上がっている。

西達布川の新橋と合わせてなぜ高いのか原因を聞きたい。

事務局

主要河川を二カ所に分けて各年で調査しているため比較がしづらい。空知川、西達布川のみ環境基準値が設定されているが、他の河川については数値が設定されていない。原因は上流の状況により天候、川の水を集めてくる範囲により若干濃縮されて高くなることもあるかもしれない。年中オーバーしている訳ではない。年々数字が上がってくるようであれば、監視をして原因をつきとめ、対策を講じなければならない。データを蓄積しながら監修していきたい。

有澤委員

調査地点より上流に問題の場所があるのでは？ 酪農地帯の糞尿の垂れ流しがあるのでは？

事務局

要因は地下浸透も含め考えられなくもないが、垂れ流しがあれば、農政課と環境課で逐次現場確認を行って、指導を行っている。

春先に多いので、毎年とは言えないが、冬中に対策を講じている場所も実際にある。

数値がいつも高ければ、状況を見ないといけないと考えているし、対応している。

有澤委員 きちんに対応されているということで了解しました。

南部委員

無頭川 25年0.8、27年1.1、29年1.5 明らかに悪くなっている。

基線川 25年不検出、27年0.9、29年2.6 3倍になっている。

こういう場合には調査対象だと思う。

比較するのに、前回の数字だけでなく5～6年の統計を出してもらわなければ比較できない。

事務局

過去5年程度載せて、比較変化が見られるように記載を工夫したい。現地の要因を調べながら、河川管理担当に話を聞いたりして対応していきたい。

南部委員 酪農家の問題、現地確認を今年の春あたりにはやった方がいい。

高橋会長

測定値は、計量証明書には詳しい長規模データが載っていると思うので、会議には持参いただきたい。天候は当日だけでなく、前日、前々日が載っていることによって、どんな水質だったのか、雨がどうだったのか、濁水が流れていたのかわかるので、その辺の対応もお願いしたい。

②持続可能な農地の保全と活用

高橋会長

過去3年をみると、アスパラ祭り、ふらの未来事業 EXPO2018 の参加人数が年々増えているが、説明して頂きたい。

③森林の保全と育成

南部委員

湿地帯における植生復元作業について、前年は実施して、今年は経過観察とあるが、結果はどうであったのか。

事務局 把握できていないので、経過を後ほどお知らせします。

高橋会長 委員全員に文書などで回していただきたい。

④野生生物との共生と保護活動の推進

家次委員

たぬき等も駆除対象になっているが、農業に関して箱わなを仕掛けてたぬきが入ったのか？アライグマは駆除しなければならないが、たぬき、うさぎ、キジ鳩は駆除しては困るので、どういう基準でだれがやっているのか？

事務局

資料では確認できないので、後ほど回答します。

有澤委員

アライグマは、道では外来種を絶滅させろと言っているが、富良野市はどのような対策を取っているのか？

事務局

農林課に確認して回答します。

南部委員

参考意見として、南富良野町から捕った動物の殺害を頼まれていたが、注射していたことがあったが、すぐに殺害が無理なので、ビニール袋に炭酸ガスを入れてガスで殺害するのが確実で行っている。富良野はどのようにしているかわからない。たぬきは罠ではないか。エゾ鹿は、被害が増えているのに捕った数が少ないのはどういう数で選んでいるのかわからない。去年あたり増えていて不思議でない。農業被害が増えているから。

ここ2～3年巨大なヒグマのニュースが出るが、鹿肉を食べている。鉄砲で撃たれ怪我した鹿が山の中で死んで、それを熊が餌にしている。鹿肉を餌にしてここ何年か巨大熊が増えている。

冬は雪があれば鹿の死骸を引き出せるが、雪のない時期は山の中に置いてくるしかしょうがない。そんなことがあると思う。

有澤委員

アライグマの増加傾向がみられる。対処をしないと農作物被害も増えていると聞いているし、野放しにしていると人的被害も生じる可能性もあり、気性の荒い動物ですから注意しておかないといけないと思っている。

高橋会長

ヒグマの看板設置 10カ所について説明をお願いします。また、古い看板は？

事務局

市民や事業所からヒグマの出没情報が年間で 62 件あったが、危険個所である市民が通る場所に看板を 30 年度に 10 カ所設置している。古い看板はその都度撤去して、新しい情報のみ設置している。

南部委員

オオハングウソウの防除時期はいつか？札幌のボランティアレンジャーでは開花してから引き抜くと種をばら撒いて被害面積を広げるため、防除する時期を変えて行っている。どの時期がいいのか？あとで教えてください。

山川草木の植樹は今年で 30 年になるのですが、審議会委員や市の職員は年々参加者が減っている。毎年機械的に載せていると思うが、実のある内容の形で載せてもらわないと困ると思う。

高橋会長

委員の方も含め積極的に PR して、参加者を募っていただければと思います。

南部委員

野生動物の研修会が来月の初めに農林課主催であるので、興味のある方は申し込んでください。

⑤ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進

高橋会長

1 人 1 日あたりのごみ排出量が全国、全道が減少傾向にある中、富良野市は増加傾向にある。宿泊客の増加もあるが、目標と 100 g も多い状況なので、益々の努力が必要と思う。

⑥魅力ある森林・農村景観の保全と都市景観の形成

南部委員

去年東北へ行った時に道路際に缶のポイ捨てはみたが、弁当の食べ残しを入れたビニール袋に包んで放棄しているのは無かった。本州の人より北海道の人が投棄しているケースが多いのではないかと。本州のコンビニは外にゴミ箱はない。全部店の中にある。買って食べたなら店に置いて来るのではないと引き取って貰えるところがないものだから、善意に訴えるだけでなく、そういうこともこれから必要ではないか。堤防沿いに毎日落ちている。北海道特有である。

有澤委員

車からポイ捨てするのを何度も見かけたことがある。ビニール袋には残飯などが入っている可能性もあると思われ、ヒグマの誘因にも繋がる危険性を持っている。何とか対策を考えないと人間も住みづらくなってくのではないかという気がしてならない。

モラルの問題でどうしようもないが。

事務局

山側の道路や裏道でポイ捨てが結構ある。富良野地域で注意喚起をしていかなければならないし、看板設置など意思表示をしていくことが大事である。モラルも必要だが、ホテル関

係も含めて協力してもらい、PR を継続してやっていかなければならない。

南部委員

調査中の看板はいつまでたっても外されていないし、実際調査しているのか。ある程度の時期が来たら撤去しないとかえって何もしていないような印象を受ける可能性がある。

事務局

不法投棄のあった場所に調査中の看板を設置している。設置後改善されるが、ずっと立ってっぱなしにしているは良くないので、点検して、必要なところに移すなどしている。放置しておく看板だらけになり、古くなって何らかの事故に繋がりがねないので、注意して点検していきたい。

高橋会長 ポイ捨て禁止条例の効力はいかがか？

事務局

一定程度ポイ捨てが少なくなったとはいえるが、数値化されてはいない。罰則も行ったことがないので、マナーに訴えかけることが主体になっているが、条例がある以上取り組んでいかなければならない。取組みをやっていくなかで検証していきたい。

⑦良好な大気環境の維持

高橋会長 自転車歩行者道路の整備は毎年行っているのか？

事務局 長寿命化計画により、毎年、計画的に富良野市の歩道整備を行っている。

有澤委員 リサイクルセンターは焼却しているのか？

事務局 焼却はしていない。

有澤委員 ダイオキシンのことが気になっていたものですから。

家次委員 アスベスト以外の有害物質の測定はしていないのか？

事務局 アスベスト以外の測定はしていない。

高橋会長 以前、フォーレスト店の交差点で粉塵の調査を行っていなかったか？

事務局 富良野市では行っていない。

⑧騒音・振動及び悪臭の防止 特になし

⑨地球温暖化対策等の推進と実践

南部委員 ペレットストーブ購入補助事業の予算は？

事務局

補助はペレットストーブ本体の半額の補助で、上限が 15 万円となっている。平成 30 年度はペレットストーブと太陽光それぞれ 5 基ずつ設置できる 75 万円の予算を組んでいる。

南部委員

過去のデータを調べてみると最初は多かったが、ここ 3 年位は 1 件しかない。過去 3～4 年ぐらいの間で 1 件しかないような事業は、事業っていえるか。

事務局

補助メニューを少しずつ増やしていきたいと思い、令和 2 年度からは薪ストーブの設置の

補助も考えている。

南部委員

有用な予算もカットされているのに、3～4年ぐらいの間で1件しかないような事業は、切ってもいいと思う。

事務局

ペレットストーブ購入補助は、平成21年にはじまり、石油価格が100円以上に高騰したときにブームのように始まった。当時は10基分の予算を現在は5基に予算を削り、状況に合わせた中で補助していく。ただ、この取組は、一回途切れると復活は難しいというのがあり、PR不足や灯油価格が安定している状況もあるかもしれないので、途切れさせないように1件でも2件でも制度として残す分は残して広めていくよう取り組んでいく。

高橋会長

昨年もこの話題になったときにPRを強化するということがあったので、今後とも宜しくお願いします。

⑩資源・エネルギーの有効利用と実践

有澤委員 ⑤、⑨、⑩のグラフの目標値にまで実線を引くのはおかしい。

事務局 修正します。

高橋会長

電力由来のCO2排出量は、今後検証のしようがないということになると目標設定や基本計画見直しの時、これらの今後の扱いはどのようになるのか？

事務局

現状、電力の数値が捕まえられなくなったが、富良野市だけではなく全国規模でそういうことになっている。どこかで数値を按分でも出てくるかもしれないが、捕まえなければならぬと思っている。今後の計画策定にあたって必要な数字となってくるので、検討、協議させていただく。

家次委員

灯油由来のCO2排出量が平成27年から平成28年に下がっているのは、電気に置き換えられているのか。平成28年度がたまたま少ないと捉えているのか、目標値が多くなっている印象を受ける。

事務局

平成28年度の灯油の排出量の数値が下がっている要因が何かということまでたどり着いていない。検証させてもらって、按分で出しているのに、エネルギーの使い方も含めて変わってきているのか、目標値より下がっているのを調べさせてもらう。

有澤委員

排出量の基礎は、灯油の消費量から出しているのか？だとしたら灯油が高騰したのか。

南部委員

何年に一回かは上がっている。23年、27年が多い。他の年は数字がちょっと上下するだけである。

有澤委員

灯油の消費量から出しているのならば、27年の高騰が後の28年に出ているということではないか。

高橋会長 その辺も含めた長い目で傾向を見ていただきたい。

⑪市民、事業者、市の協働による自主的な活動の推進 特になし

⑫幅広い世代への環境教育・環境学習の推進 特になし

⑬環境情報の共有化 特になし

要望

平間委員

③の市民植樹祭の開催について、中央婦人会に案内を頂いているが、自家用車で行くことになっているが山奥なのでわかりづらく行けない人が多い。交通手段を考えてくれるともっと参加出来ると思う。

事務局 主催者に確認して、そういう意見があったことを伝えます。

(2)その他

南部委員

環境審議会は環境白書を作るための審議員なのか、市の普段からの環境問題を討議する審議員なのか？ 平成27年の見解では、環境白書を作るための審議会ではないとのことであった。去年は年に1回くらいは視察に行くという話もあったが、それも年々なくなってしまっていて、行政は継続するということであり、当時の答弁が次の者に引き継がれていかないとないが、事務局はどのように考えているか。

事務局

審議会は、条例策定はもとより、環境基本計画の策定の中で今後の方向性を決めていくときに審議員の意見をいただいております。環境基本計画の進行管理ということで環境白書を作製し状況をお知らせしている。

委員は一年に一度だけの会議になっているが、知見を深めていきながら、環境の取組を充実させていかなければならない。環境調査も計画していかなければと考えている。

令和2年度は環境基本計画の策定に入って参りますので、今後の審議会の方向性を皆さんと確認しながら進めていきたい。

高橋会長 基本計画を前回策定した時に、委員がバスで色々歩いた。

事務局

当時、資源回収センターを見学したり、環境展を見ていただいたりした。今後また復活させていくよう考えていく。

高橋会長

今年、第三次環境基本計画策定のため、第1回審議会の開催はいつ頃予定しているか？

事務局

新年度に入り準備をして5月中位から始めていかないと間に合わないと考えている。総合計画の方向性を定めていくのか、第二次は色々な環境手法を設けてやったが、そのことも含めて第1回を5月中位に開催したい。

合わせて富良野市総合計画の策定も動いており、兼ね合いもあるので早め早めに進めていけるように委員の皆さんにご協力をいただきながら、第三次環境基本計画は充実した分かり易いものにしていきたい。

高橋会長

本来、現行の基本計画をまずは見ていただいていた方がいいのかなと思います。市のホームページに掲載しているので、一度お目通しをいただければと思います。

6. 閉会

高橋会長

長時間にわたりましてご審議いただきました。

審議会のあり方も含め、令和2年度は忙しくなりそうではありますが、まずは8月まで本日お集りの皆さんの委員の任期がございますのでよろしくお願いいたします。